



『発揮する3期』のスタート！ より熱く！より爽やかに！

夏休み前の「苗木中だより」で自らを律することについて触れましたが、皆さんの夏休みはどんな夏休みだったでしょうか。夏休み期間中に開催された自習室には、毎回多くの生徒が参加して静かに集中して勉強している様子が見られました。また、生徒会役員さんも何回も集まり、あんどん祭の準備（残念ながら雨で中止になってしまいましたが。）や生徒会サミットの発表の準備を進めていました。また科学の甲子園に参加する生徒たちも過去の難題に取り組んでいました。それぞれに充実した夏休みだったのではないのでしょうか。夏休みも終わりいよいよ今日から『発揮する3期』が始まりました。3期には体育大会、そして4期では合唱祭と冬休みまでの4か月間には中学校の2大行事が控えています。まずは『発揮する3期』でクラス・学年・全校が一つになって全力で今の精一杯の自分達を発揮できるように取り組んでください。

皆さんのより熱くより爽やかな姿を期待しています。

一人一人が役に立つ人になるために

夏休みに入りホッとしていた時、熊本において震度7の甚大な地震が発生いたしました。犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

近年、南海トラフを震源とする大地震に備えて国などが地震予知に向けて様々な対策を講じている中、熊本でまた震度7の地震が発生しました。改めて地震はいつ起きてもおかしくないということを実感しました。この地震では多くの家屋が倒壊し避難を余儀なくされた方も多数おられます。停電や断水が発生する中、猛暑が被災された人々を苦しめています。多くの学校も校舎が被害を受け、自校での授業再開ができない学校も多数あるそうです。千葉や石川・富山では、大雨特別警報が発表され大きな被害がでました。

さて、9月1日は「防災の日」です。この日は1923年の関東大震災が起きた日として防災の日となっています。関東大震災では、地震発生後に火災が発生し東京の街を焼き尽くし死者・行方不明者約10万人という近代史上最悪の災害でした。地震大国日本では、常日頃から地震に備えてきています。建物の耐震基準は世界のどの国よりも厳しく、近年建てられた建物はかなりの揺れにも耐えるようになっています。

しかし、安心はできません。自然災害から生き延びるためには、「**自助・共助・公助**」が不可欠です。

自助・・・自分の力で自分を守る・助ける
共助・・・地域やコミュニティで互いに助け合う
公助・・・行政や公的機関による支援・救助

特に災害発生直後、110番や119番してもすぐには助けが来てくれません。そこにいる人たちが何とかしなければいけません。そのために地域には自主防災会が組織されています。毎年9月1日近くの日曜日に地域で防災訓練が行われているのは、地域の「共助」の力を高めるためなのです。

さて、中学生の皆さんはこの訓練に参加していますか？保護者の皆さんは、お子さんを参加させていますか？災害はいつ発生するかわかりません。だからこそ災害に備え準備が必要なのです。「一人一人が役に立つ大人」になるためには地域の行事にも地域の一員として進んで参加することが大切だと思います。地域の方の顔を覚えるだけでも参加する価値はありますね。

東日本大震災の時、小さな子やお年寄りの避難を助けたのは中学生だったそうです。地域の一員として、今できることに進んで取り組める人になってほしいと願っています。